



農業技術センターニュース

目 次	
 施設メロンの近紫外線除去フィルム被覆下での根域制限栽培・・・1	 オーニソガラム・シルソイデスの実生による切り花栽培・・・4
 ラノーテープに対する感受性低下個体群の出現・・・2	 黒色化織布の果実被覆がユズ貯蔵中のこはん症発生に及ぼす影響・・・5
 つる下げ誘引仕立てによるパプリカの土耕栽培・・・3	 県内で確認した茶害虫クワシロカイガラムシの土着天敵・・・6

施設メロンの近紫外線除去フィルム被覆下での根域制限栽培



(左:根域制限栽培、右:慣行栽培)



(左:根域制限栽培、右:慣行栽培)

施設メロンにおいて、近紫外線除去フィルム被覆と根域制限を組み合わせた栽培の実用性を検討しました。

防根透水シートを用いて深さ20cm、幅50cmに根域を制限して、灌水同時施肥（施肥期間は定植後70日まで）により栽培を行い、メロンの生育・果実へ及ぼす影響について調査しました。

その結果、慣行栽培（根域制限なし）と比べて生育の差はなく、得られた果実はやや小さくなる傾向にあるものの、目標とする果重で、外観・内容品質の差はほとんど認められませんでした。

以上のことから、近紫外線除去フィルム下で、灌水同時施肥を用いた根域制限栽培は、施設メロンに適応可能と考えられました。